

## 国際教養大初年度入試

# 外部英語試験の 高得点者を優遇

国際系大学創設準備委員会の入試専門部会（中嶋嶺雄部会長・八人）の第三回会合が二十日、東京・平河町の都道府県会館で開かれ、国際教養大の初年度入試について協議した。TOEFLなど外部の英語試験で高得点を取得済みの受験者に対しては、一般入試（前・後期）の英語の成績にかかわらず、英語を満点（二百点）とすることを人筋で決めた。

## 創設準備委が専門部会

この優遇措置は「（英）語教育に力点を置く」大学の強いメッセージとなる」（中嶋氏）などの考えによる。対象となる試験はTOEFL（五百三十点以上）、TOEIC（Bレベル以上）、英語検定（準一級以上）、ケンブリッジ英語検定（FCE以上）の四つ。

こうした外部試験で一定のレベルをクリアした場合に英語試験を免除する案も出たが、「英語の初年度入試問題は、大学入試センター試験で過去に出題された問題が

中心となる予定。問題の性格が異なるセンター試験と外部試験の難易度の比較することもできず、試験の免除は行わないことになった。

にした。

ほかに一般入試後期の配点は英語二百点、小論文（日本語）百点とし、推薦入試の面接は英語と日本語で行う方針を決めた。推薦入試の期日に関しては委員から「（事務局案の）来年一月十二日では他の大学に比べて遅すぎる」と懸念の声が上がり、再検討することになった。